



自分大好き
友達大好き
ふるさと大好き

宮小の子

令和5年度 栗原市立宮野小学校
校長室だより No.6
2024/1/31
発行者 小松 英明

児童会行事「ゲーム集会」開催

去る1月17日(水)に宮野小学校体育館で、児童会主催の「ゲーム集会」を行いました。

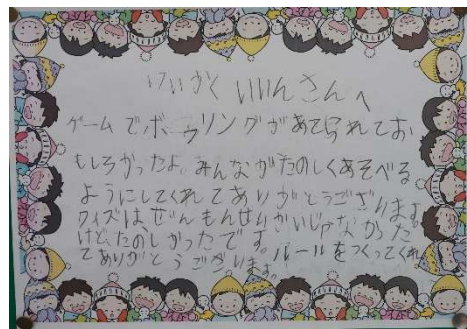
この会は、23年内の計画でしたが、感染症の蔓延によって、延期されていたのですが、ようやく実施することができました。昨年までは、感染予防のためにあまり動かないゼスチャーゲームのような内容でした。今年の内容は、クイズとゲームでした。

クイズは、全部で6問、それぞれの問題の場所に移動して解答していきます。皆が体育館の中に散らばり、思い思いに問題に取り組みます。問題は、計画委員会のメンバーが考えたオリジナルの問題で、宮野小学校に関する問題でした。「校長先生の好きな食べ物は、なんでしょう?」という小職に関する問題もあり、「校長先生、答えを教えてください。」と何度も声をかけてもらいました。計画委員会の「校長先生も混ぜてあげよう」という温かい心遣いに感謝です。全校のみんなに声をかけてもらって、幸せな時間を過ごすことができました。

次のゲームは、ペットボトルに水を入れて、バスケットボールで倒すというボーリングゲームです。はじめに計画委員がステージ上で模範演技を見せてくれました。その後、一人1回ずつ練習をしました。練習終了後は、縦割りグループ対抗のボーリング大会でした。縦割りグループ毎にペットボトルを倒した数を競います。下学年の子供たちのお世話をする上学年児童の姿が、どの縦割りグループでも何度も見られました。みんな笑顔です。倒れても倒れなくてもみんな嬉しそうです。全員が投げ終わった後は、縦割りグループの代表が、集計した点数を発表します。発表する声に皆大きな歓声を上げていました。

楽しい時間だったので、とっても短く感じました。最後は、感想発表でした。他の学校では、感想発表する人を決めていることも多いと思いますが、宮野小学校では、感想を言いたい人がその場で手を上げて話すのが普通になっています。ご覧になった方も多いと思いますが、150周年記念式典の瀬川誠さんの講演会の時もそうでした。今回もあんな感じでした。すごい数の手が上がりました。子供たちも楽しかったんですよね。「ボーリングで、練習も本番も1本も倒せなかったけど、とっても楽しかったです。」「みんなで楽しい時間を過ごせて、絆が深まりました。」本当にステキな言葉が、次々話されていました。

宮小ならではの心の温まるいい会でした。



みんなに知らせたい

今日の宮小っ子



校門の車止め

午後一番で出張に出かけることがありました。子供たちは、掃除の最中です。5年生が、外掃除の担当で、その時は、昇降口周りの除雪をしていてくれました。車止めを動かして、校門の外に車を止めて、もう一度車止めを戻そうと車を降りました。そうしたら、さっきまで掃除をしていた5年生の男の子が、車止めを戻してくれていました。「なぜ、児童が車止めを戻しているの？」予想外の出来事だったので、何が起きたのか理解できずにちょっと戸惑いました。5年生の男の子は、私が車止めを動かして、車を校地外に出したのを見て、車止めを戻しに来てくれたんですね。そうと分かったら、嬉しくて仕方なくなりました。「ありがとう」そんな言葉しか思いつきませんでした。これは、すごいことだと思いました。

自然に相手を思いやる行動ができる子ども、すばらしいです。これは、なかなか教えても身につくものではありません。あまりにも嬉しくて、担任の先生にお話しました。そうしたら、「外掃除の子供たちは、車止めは閉めるものと思って、結構気にしてくれているんですね。」との話でした。1回だけの話ではないのです。それに1人だけの話でもないのです。改めて感激しました。やっぱり、宮野小の文化、すばらしいですね。

6年生の読み聞かせ ～学校の在り方を思う～

6年生は、自主的に低学年の教室で読み聞かせを行っています。自分で絵本を選んで、読み方を練習します。練習を重ねてから、低学年の教室に行って読み聞かせをしていくのです。取り組み始めた頃は、緊張している様子が見られました。でも、回を重ねる毎にだんだんと慣れてきたそうです。

先日も1年生教室に読み聞かせに行きました。その時の1年生からの感謝の手紙を紹介합니다。

「まといくんへ『くまくまぱん』をよむのがじょうずでぼくもよみたくなりました。」

「りゅうのすけくんへ『いちにちのりもの』のよみかたがおもしろくてさすがにぼくもわらっちゃいました。」

「りゅうのすけくんへりゅうのすけくんのよみかたがすごくおもしろくておもしろい本をよんでくれてうれしかったです。」

「まといくんへまといくんのよみかたはすごくじょうずですごくてのしそうな本をよんでもらってうれしかったです。」

6年生の読み聞かせもステキな取組ですが、1年生からの感謝の手紙もステキですね。

情報通信手段が発達した現代、コロナ禍で実証されたように対面でなくても仕事は進められるし、学習することもできます。しかし、同じ空間を共有して一堂に会して学ぶ学校の意味がここにあると思っています。情報通信手段で代替できることもありますが、対面で顔を見ながら肉声でしか伝わらないものもあります。

これからも宮野小学校は、人と人のつながりや関わりを大切にしながら学びを進めていきたいと思っています。

